

おたけ市議会だより

2018
(平成30年)

8

No.194



●小方小学校先生方によるプール救助訓練



●大竹消防隊員による救助訓練展示



●大竹小学校先生方による心肺蘇生講習



●小方小学校先生方による心肺蘇生講習

| | |
|------------------|-------|
| ◆第2回定例会 | 2ページ |
| ◆一般質問 | 4ページ |
| ◆議会日誌 | 7ページ |
| ◆陳情 | 8ページ |
| ◆9月議会日程 | 8ページ |
| ◆審議結果表 | 10ページ |
| ◆スマイルインタビュー・あとがき | 12ページ |

第2回 定例会

総務文教委員会

主な審査内容

●平成30年度大竹市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ2千609万1千円を追加するもの。

解説

○主な内容

【歳入】

・保育所等整備交付金

1千406万1千円

【歳出】

・私立保育所整備補助金

2千109万1千円

【継続費】

・青木踏切改良事業

総額1億8千万円

(平成30年度

0円)

※継続費とは…事業の総額及び年額を定め、複数年度にわたって支出することができる予算

Q 青木踏切改良事業の費用について、JRと市の両者でなく、市が全額負担することになった理由を問う。

A 青木踏切については、JR敷地

内を市道「南栄下白石線」として道路使用させてもらっている。

国土交通省で通学路に指定されている踏切について積極的に改善を図っていくということで、「踏切道改良促進法」が一部改正された。

本市においても協議会を設置し積極的に踏切の改良を進める中で、JRと協議を進めてきた。基本的には本市が改善を図るということで、踏切の改良を本市の負担で進めていく考えである。

Q 工事後、土地代を後から払うことになっているが、土地代を先に支払い工事を着工することが通常であると思うが、考えを問う。

A 詳細設計を工事協定締結後の平成31年頃に予定している。その後、確定した土地の範囲を買収することになる。



改良予定の青木踏切

●大竹市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

解説

放課後児童支援員の資格要件の拡大及び一部規定が明確化されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。

Q 苦情対応のマニュアルはどのようになっているのか。また、今後、保護者会を作る予定はあるのか問う。

A 現場での苦情は主任ほか各放課後児童支援員が直接聞いて対応している。現場で対応できない場合は、生涯学習課青少年育成係が対応することになるが、現在のところ大きな苦情はない。

現在、市において保護者会という仕組みはない。定例的に主任支援員が集まり、保護者の声を集約しているが、把握しきれないこともある。保護者の声を反映させるのは大事なことであり、その在り方については、今後検討していきたい。



コイちゃん

Q 放課後児童支援員や定員の数はどのようになっているのか。支援員の数は十分なのか問う。

A 全体で280名の定員に対し、利用児童は、6月1日現在、玖波小のあすなろ児童クラブ33名、小方小のみどり児童クラブ17名、大竹小のみどり児童クラブ14名で、みどり児童クラブとみどり児童クラブは若干定員を超えている。

ひかり児童クラブでは低学年の利用希望者が多かったことや、支援員の欠員により、高学年の受け入れができていないが、ほかの2クラブにおいては、現在の支援員の数で足りている。

国の基準が改正され資格の要件が広がったことで、支援員の確保の面でも期待しているが、ハローワーク、

第2回定例会は、平成30年5月24日～6月1日の9日間行われました。
 詳細については、平成30年9月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページで録画中継もご覧いただけます。



本会議での採決の結果
 原案のとおり可決



※採決の結果、すべての議案が
 原案のとおり可決
 市広報で募集しているものの希望者が
 少なく、支援員がやや足りていな
 い状況である。

生活環境委員会
 主な審査内容

●工事請負契約の締結について
 (大竹市中継施設等整備工事)

Q 「性能発注方式」とは、どのよう
 な契約なのか。また、性能が将来的
 に保証されるのか問う。

A 発注仕様書に示した内容につい
 て完成時に満たされていることが求
 められる契約である。基本的に設計
 施工で行っているため、設計上の不
 具合に関しては受注者負担となる
 が、負担には期限があり、性能が将
 来永続的に保証されるというもので
 はない。また工期内に性能を満たし
 ているものをつくるというのが「性
 能発注方式」の条件である。



現在の固形燃料(RDF)化施設

Q 新しく整備する可燃ごみ中継施
 設は、仕様上の処理能力を1日25ト
 ンとしているが、それ以上発生して
 あふれてしまうようなことはないの
 か問う。

A 仕様の1日25トンの処理能力は、
 通常のごみの搬入量から見込み、対
 応可能であるものとして算定したも
 のである。

平成31年4月からの1年間は、仮
 設の中継施設の使用となるが、可燃
 ごみ中継施設が本格稼働となった後
 は、故障時等の際も、ごみを貯め置
 くことができ、十分対応できるもの
 と考えている。

Q リサイクルセンター内で事故が
 あったことを踏まえて、今後、新し
 い事業形態に移行していくにあつ
 ての安全対策と、工事期間中に市民
 の方が持ち込みをされる際の安全対
 策を、どのように考えているか問う。

A 事故のことは大変重く受け止め
 ている。

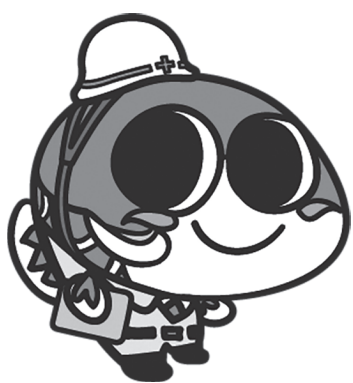
現在、職場では毎日の朝礼の際、
 安全の声掛けをしたり、「無事故、け
 がゼロ」のボードを設置するなど注
 意喚起を行っている。また、受託事
 業者である作業員に対しても、動線
 の整理、必要に応じた誘導員の配置

などの取り組みを指導し、事故を起
 こさないよう徹底を図っている。
 工事中における市民の持ち込みに
 ついては、紙資源の仮置き場として
 コンテナを適切な場所に設置した
 り、事務所近くで職員が回収する取
 り扱いの導入をし、危険な箇所に市
 民が行かないように対策したいと考
 えている。

※採決の結果、すべての議案が
 原案のとおり可決



本会議での採決の結果
 原案のとおり可決





日域 究

- 平成29年3月議会最終日、市長の閉会挨拶の内容について
- 市営御園アパート立ち退き問題に関して、家賃の二重徴収は妥当ですか

網谷 芳孝

- 大竹市営木造平屋住宅解体跡地について

山本 孝三

- 社会保障制度の充実に市としての役割を

山崎 年一

- 県の「子どもの貧困実態調査」から本市の結果を問う
- 岩国基地の諸問題について問う

末広 和基

- 「信頼」につながる「共感」の必要性は共感出来ましたが、その「共感」の基礎として、状況や情報の「共有」への手法について伺います。

問 昨年3月議会の閉会挨拶で市長は「職員の皆さんには、行政で法律違反するわけにはいかない、裁判を先にかけて判定を求めることは不可能だから、まず弁護士さんと決断のたびに説明をし、相談をしながら、法律違反のないように徹底してやっていこうということだ」とおっしゃいました。しかし、決断のたびに相談したのであれば、不動産評価審議会で、売れる価格でないという意味がない、という意見に対し、下げるだけの根拠がないと反論されて鑑定評価が適正価格だと決定したことは不自然です。弁護士の助言があったとは思えません。そもそも、このやり方は1年前から。決断のたびに弁護士に相談したのは事実ですか。それとも、昨年3月議会での発言が間違いですか。

昨年3月議会市長の閉会挨拶



日域 究

答 大願寺地区土地売り払いについては、リーマンショック後、土地の鑑定評価額がわずか2年の間に10億円から7億円に下がり、近隣地区の土地の売却状況や小方学園の開校が迫るなど大変厳しい状況でした。そのような中、土地を売り払うには、慎重かつ丁寧に進めなければなりませんでした。行政が法律違反をしてはなりませんし、裁判を先にかけて判定を求めることは不可能です。で、決断に際しては弁護士に相談をしながら、法令違反のないよう進めていこうということをご時行っており、その趣旨を説明させていただいたものです。



市議会中継より



網谷 芳孝

大竹市営木造平屋住宅
解体跡地について問う

問 いま、市内にある市営木造住宅は、戦後まもなくして建てられた50年から70年近く経過した建物であり、大変古く老朽化もかなりの頻度で進んでおります。今現在も色々な事情をかかえながら多くの市民の皆様が居住されておりますが、もつすでに市内ではかなりの数の木造住宅が解体されております。中にはまとまった広さの土地も見られ、大小様々な土地が出来上がっているように見受けられることから、もつそろそろ解体跡地の行政としての利用または民間売却など財政の観点からも、次の施策を講じる時期ではないかと思いますが、執行部の考えを問います。

答 市が管理する平屋住宅233戸のうち、112戸は退去され、空き家となつています。平屋住宅は老朽化し、耐用年限を経過しているため、居住者の移転、用途廃止を行い、計画的な解体を進めています。また、平屋住宅の方には市営アパートなどへの転居を促すため、引っ越し費用を市が負担するなどして、個人負担を軽減しています。

15か所ある平屋住宅の団地は、場所も規模も様々ですが、基本的には解体後の跡地は、民間への売却を考えています。しかし、どの団地も複数の世帯が居住しており、売却には至っていません。空き家は防犯上の不安もあるため、早期解体を促進し、定住促進につながるよう跡地の活用に向けて取り組んでいきます。



市営木造住宅解体跡地



山本 孝三

社会保障制度の充実に
市としての役割を

問 政府・財務省においては、社会保障分野についての「改革行程表」を逐年実施する計画です。この「行程表」は、自治体に対し、その実施・施行の指導はされているのでしょうか。

答 「行程表」に示されている中味は、いずれも、負担増と、サービス・給付が削減され、自立・共助が求められ、公助（国の責任）が後退する内容です。

大竹市として、医療・介護・生活保護などの分野に配慮され、福祉充実に取り組むべきと思えます。

また、負担軽減や以前から要望してきました、国保料・介護保険料の賦課について、累進性をより高度なものにすべきです。市長をはじめ、担当部課長の答弁を求めます。

答 改革工程表は、国の「経済財政再生計画」を着実に推進するため、社会保障や他の主要分野の進捗状況や今後の取り組み等を集約したものです。昨年12月に改訂版が示され、県主催の会議等で制度変更の趣旨やQ&Aなどが通知されています。

変更内容には負担増やサービス縮小だけでなく、実態に即した対象拡大や給付増もありますが、少子化・高齢化社会において持続可能な社会保障制度とするためには、サービスを我慢するのか、負担を覚悟するのか、そのバランスを真剣に考える時期に来ていると強く感じています。

国保料は、賦課限度額の引き上げによる中間所得層の負担軽減や、5割・2割軽減の判定所得基準の引き上げにより対象者が増える見込みです。





山崎 年一

本市の「子どもの貧困」について伺う。

問 広島県の「子どもの生活に対する実態調査」が公表され、過去1年間に「食料が買えなかった」などと回答した保護者の割合が生活困窮層で70%と高い数値が示されました。育ち盛りの子ども達が「食料が買えない」とがある「家庭で育つ」など到底許されません。

答 アンケート結果からは貧困の連鎖が伺えます。県の動向も注視しながら、また他自治体の支援を参考にしながら、本市として取り組むべき施策を検討したいと考えています。

岩国基地の諸問題を伺う。

問 米海兵隊が公式ホームページで公表した低空飛行訓練についての回答を求めます。

岩国基地の離着陸訓練や空母への着艦資格取得訓練などが計画され、基地周辺住民の騒音に対する怒りの声は大きく、阿多田地区住民の怒りは爆発寸前です。どのように判断されていますか。

答 中国四国防衛局に確認したところ、「日米共同訓練に参加する範囲で飛行を行った旨の説明を受けている。それ以外は米軍の運用上のことであり承知していない」とのことでした。

阿多田島の方々が一番大きな迷惑を受けられており、また多くの市民もそれを気にかけ心を悩ませています。しっかりと国に状況を届け、配慮をお願いしたいと考えています。



EA18 グラウラー (米海兵隊ウェブサイトより)



末広 和基

「信頼」につながる「共感」の基礎として、情報や状況の「共有」への手法について伺います。

問 市民や議会、行政組織内部で状況や情報への共有の必要性が高まっています。一般市民や若手職員を「興味・共有・共感」に導くために、どのような考え方が必要でしょうか。

答 支えられる人が増えるなかでのまちづくりでは、市民の皆様にも少しずつ役割を担っていただきたいの思いがあり、そのためには信頼に加え共感が必要と強く感じています。市民や議員の皆様と一緒にまちづくりを進める過程では、利害の相反や意見の相違もあると思います。しかし、大きな目的を共有し、相手の立場を理解して歩み寄る姿勢を大切にすれば、導かれる結論は、どの立場から一定の納得が得られ、自ずと

明るい結果が見えると思います。ありがたいことに、本市には様々な場面で、まちづくりに携わってくださる市民の皆様が数多くおられます。これからも、良いまち大竹のために、共感と信頼を携えて一緒に歩んでいきたいと考えています。



議会日誌

5月～7月

- 5月17日 議会運営委員会
広報広聴特別委員会
議会改革調査会
- 24日 議会運営委員会
本会議
- 25日 本会議
生活環境委員会
生活環境委員協議会
- 28日 本会議
総務文教委員会
総務文教委員協議会
基地周辺対策特別委員会
- 30日 全国市議会議長会定期総会
(東京都)
議会改革調査会
- 31日 石油基地防災対策都市議会協議会総会
(東京都)
- 6月 1日 本会議
7日 総務文教委員政策研究会
生活環境委員政策研究会
基地周辺対策特別委員会
議会改革調査会

- 19日 各派代表者会議
- 22日 議会運営委員会
- 27日 佐伯郡地方振興財団理事会・評議員会
- 28日 議員全員協議会
広報広聴特別委員会
生活環境委員協議会
議会改革調査会
基地周辺対策特別委員会
- 7月 2日 臨時会
- 9日 広報広聴特別委員会
議会改革調査会
基地周辺対策特別委員会
- 10日 議会報告会
(サントピア大竹、エスポワールおおたけ、
小方ヶ丘集会所)
- 12日 議会報告会
(総合市民会館、おがたピア、玖波公民館)
- 13日 広報広聴特別委員会
議会改革調査会
- 14日 議会報告会
(農林振興センター、木野集会所、
松ヶ原集会所)

政務活動費の公開について

平成29年度分政務活動費収支報告書を
市ホームページで公開しています。

【大竹市HP→市議会のページ→

議会の活動や記録→政務活動費】

領収書については情報公開の手続きが必要
となりますのでご了承ください。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせく
ださい。

訂正

議会日より平成30年5月号13ページの
日域究前議員の質問において、「市と一切の
契約なしに、長年市営住宅内で商売をして
いる業者に対して、」とありましたが、一般
質問で発言をしていないものを掲載してい
ましたので訂正いたします。

なお、市は業者に対して使用許可をして
いましたのでお知らせします。

陳 情

| 陳情書名 陳情提出者 | 要 旨 | ●付託委員会 ○委員会の討論 【委員会の結果】 | 【本会議の結果】 |
|--|--|---|----------|
| 既存プール施設の撤去及び「生命尊重の碑（仮称）」の設置を求める陳情について 大竹市立大竹中学校 PTA 会長 山 代 英 資 | ①老朽したプール施設の撤去を求めます ②「生命尊重の碑（仮称）」の設置を求めます ③今後の用地活用の際の方針について求めます | ○ 生活環境委員会 【採択】 ●「これから先を見据えて、議会が採択してもすぐにプールができるわけでもなく、PTAや保護者の皆さんの気持ちを受け止め、採択すべきである」 【不採択】 ●「明確に『プールを作ってほしい』とされておらず、採択すれば陳情書の趣旨に沿った採択にならないと考え、不採択とすべきである」 【採 択】 | 【採 択】 |

本会議での討論

【採択とすべき討論】

「新設となった中学校に 13 年間も放置された施設を見ながら日々学んでいる子供たちの心情をどう察するかを問われている。心の問題として当陳情を受けとめ、PTA の皆様の活動を評価すべき」

「老朽化したプール施設の、今後のありようを協議できる話し合いの場を求めておられると読み取る。保護者・学校・教育委員会が共同歩調をとっていかれることを望みながら、当陳情に対して賛意を示す」

【不採択とすべき討論】

「プール撤去のみの陳情であり、小中学校共用プール建設の要望ではない、加えて生命尊重の碑は現存しているもので活用されているので賛成できない」

「プール撤去後の跡地利用の意図が明確ではないと受け止め『趣旨・含意の不明瞭な陳情については採択すべきではない』という陳情制度の規範に基づき、反対とする」

「かつて自分が PTA 役員であった時に経験した『やらせ陳情』と同様な無責任な陳情と感ずるので、反対する」

継続審査中の陳情

陳情書名：市営アパートへの LP ガス納入価格の適正化を求める陳情

陳情提出者：宮本邦夫 ほか 78 名

9月議会日程(予定)

| | |
|---------|--------------|
| 本 会 議 | 9 月 6 日 (木) |
| 〃 (予備日) | 9 月 7 日 (金) |
| 常任委員会 | 9 月 10 日 (月) |
| 〃 | 9 月 11 日 (火) |
| 特別委員会 | 9 月 12 日 (水) |
| 本 会 議 | 9 月 19 日 (水) |

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議を行います。議会がどのように運営されているか、本会議、委員会を傍聴してみませんか。

議 会 を

傍 聴 し ま せ ん か



陳 情 書 (抜粋)

大竹市立大竹中学校の敷地内には、現在使用されていないプール施設があります。

大竹市教育委員会によりますと、主な原因は設備の故障であり、平成 17 年以来施設の利用が叶わない状態であるとのこと。

長年放置されてきた現在のプール施設は、経年劣化や草木の浸食などによる著しい損傷が見られ、現在の施設を改修して従来通り水泳の授業を再開するには多大な費用と労力を要する事が考えられます。

これまで 10 年余りの間、大竹中学校生徒は使用できないプール施設の敷地を、水泳に限らず何にも活用できず、義務教育期間における貴重な学習機会を逸したまま毎年 100 名前後が卒業していきました。

つきましては、大竹中学校 PTA としてこの状態を早急に改善していただきたいという旨を表し、これからの生徒にとって、より良い教育環境の中でより良い公教育が営まれるよう、以下陳情いたします。

1 老朽したプール施設の撤去を求めます

使用されていない老朽したプール施設は 918 m²あり、平素は誰も出入りできない状況にあります。この場所が学校及び生徒にとって有効に使用・活用されるよう、この施設の撤去をお願いします。

2 「生命尊重の碑（仮称）」の設置を求めます

大竹中学校のプールでは、昭和 58 年 5 月 23 日に大変悲しい事故が発生し、尊い生命が失われました。このことが現在の生命尊重の活動に繋がっています。この活動は大竹中学校独自の取り組みとして代々受け継がれ、これまで多くの卒業生、及び在校生が生命について考える機会となってきました。

この原点が忘れられることがないように、施設撤去と同時期に「生命尊重の碑（仮称）」の設置をお願いします。

3 今後の用地活用の際の方針について求めます

上記碑の設置、また新プールや他運動施設、文化施設などへの用地転用については、今後、学校及び保護者と十分な意見交換の場をもたれることを求めます。その意向を十分に尊重しながら、実現に向けて努力されますようお願いいたします。

市議会定例会(第2回) 議案の審議結果表 (主な議案)

| 議案など | 児玉朋也 | 末広和基 | 賀屋幸治 | 北地範久 | 西村一啓 | 和田芳弘 | 大井芳孝 | 網谷芳馨 | 藤井馨 | 山崎年一 | 日域雅子 | 細川公章 | 寺岡公章 | 田中実穂 | 山本孝三 | 審議結果 |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議案第42号 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第43号 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第45号 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成30年陳情第2号 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | 採 択 |

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—: 議長 ○: 賛成 ●: 反対

全国市議会議長会永年勤続表彰

(敬称略)

【市議会議員 50年以上特別表彰】

山 本 孝 三

【市議会議員 15年以上表彰】

寺 岡 公 章

【市議会議員 10年以上表彰】

児 玉 朋 也
山 崎 年 一

中国市議会議長会永年勤続表彰

(敬称略)

【市議会議員 12年以上特別表彰】

日 域 究

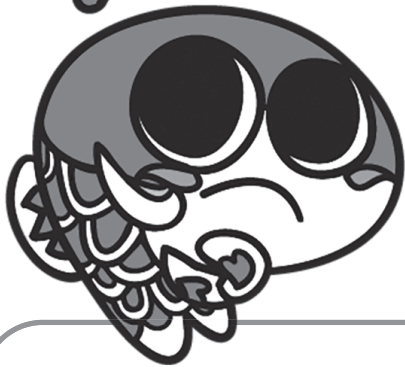
新議員の紹介

6月17日に大竹市議会議員補欠選挙が
おだがみ なおのり
行われ、**小田上 尚典**氏が当選されました。



【所属委員会】

○生活環境委員会



議会中継って、
どうやって見るんだろう？

議会中継は、**ちゅピCOM 113ch** で放送されています。
次の順番でリモコン操作をしてください。

- ①テレビのリモコンで地上 **11ch** (ちゅピCOM 111ch) を選ぶ。
- ②チャンネル選局上下ボタンの上のボタンを2回押して **113ch** にする。



これで、議会中継を見ることができます。

※ちゅピCOMを見るためには、契約が必要です。

パソコンでなら、
議会の録画がみられるんだって。

大竹市のホームページで、議会中継の録画を見ることが出来ます。

大竹市のホームページ→市議会のページ→議会の活動や記録→議会中継→録画中継

※開催日の2週間程度後から見る事が出来ます。





第21回のインタビューは、「親と子の本の広場 あいいく館」の代表 杉嶋 壽子 さんです。

第21回 スマイル インタビュー

活動内容を教えてください。

毎週土曜日

の午前・午後、絵本を中心とした子育て支援をしています。手遊び、絵本の読み語り、貸し出しもします。遊具での遊びや作業もします。



絵本の読み語りの様子

どんな方が来場されますか？

乳幼児と保護者が多いですが、小学生も来ます。お母さんの安らぎの場にもなっているようです。お父さんもよく来られます。



絵本まつりの様子 (平成30年6月9日開催)

色んな行事も開催していただけるようですが？

七夕や節分、ひなまつりなど季節の行事のほか、野菜の収穫体験もあります。年に一度の絵本まつりでは、講師から絵本の楽しさや大切さのお話を聞いたり、スタッフの人形劇もあります。クリスマス会はとても楽しいです。

ズバリ！絵本とは？

読んでもらうことで「言葉」と「心」が育ち世界も広がります。それは「ひと」が人間関係を築く基本となります。絵本の楽しさは、子どもに喜びと希望を与えます。

読者に一言

子ども達に良い本を届けたい。楽しい良い本がたくさんあるので、ぜひ一度遊びに来てください！



様々な特技を持つスタッフ (スタッフは16名います)



あとがき

広報広聴特別委員になって、一生懸命に議会活動を市民の皆さまにお伝えすることに専念して参りました。

「笑顔 元氣 かがやく大竹」をテーマに議会活動をお知らせすること、市民の皆さまに議会活動を理解していただくこと、さらには市民の皆さまの安心・安全なまちづくりに、議会や各委員会と審議し、各議員が議会活動を通じて平素から取り組んでいます。

議員自身の政務活動や政策の内容等がわかるように、また、各委員会などのように議論し、委員会採決等がされているかがご理解いただけるように、私たち広報広聴特別委員会では、市民の皆さまに、議会活動をよりわかりやすく、よりご理解いただけるよう広報紙作りに取り組んでいます。

広報広聴特別委員

委員長 副委員長

- 寺岡 公章
- 末広 和基
- 北地 一久
- 西村 芳啓
- 和田 芳弘
- 大井 芳孝
- 網谷 孝

議員失職にともない、新しく大井渉議員が広報広聴特別委員に選任されました。

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

発行・平成30年8月1日 大竹市議会

広島県大竹市小方一丁目11-1

TEL

0827-15912183